



## 2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月14日

上場会社名 株式会社 I D O M 上場取引所 東  
 コード番号 7599 URL https://221616.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽鳥 由宇介  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務・IRセクションリーダー (氏名) 松本 雅之 TEL 03 (5208) 5503  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第3四半期の連結業績 (2021年3月1日～2021年11月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	344,620	22.2	14,760	71.3	14,046	78.9	8,738	67.2
2021年2月期第3四半期	282,082	3.5	8,616	11.5	7,849	22.0	5,226	45.3

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 9,025百万円 (50.6%) 2021年2月期第3四半期 5,994百万円 (100.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	87.03	-
2021年2月期第3四半期	51.97	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式がないため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	179,458	53,253	28.9	515.73
2021年2月期	177,222	45,015	24.8	438.18

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 51,783百万円 2021年2月期 43,996百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	-	5.30	-	5.30	10.60
2022年2月期	-	2.30	-	-	-
2022年2月期 (予想)	-	-	-	2.30	4.60

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	18.2	17,000	60.8	15,900	64.9	9,200	519.6	91.63

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	106,888,000株	2021年2月期	106,888,000株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	6,480,641株	2021年2月期	6,480,601株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	100,407,387株	2021年2月期3Q	100,571,065株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実績の業績等は様々な要因により上記業績予想とは異なることがあります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年11月30日)における国内直営店の小売台数は、107,636台(前年同期比2.7%増)となり、第3四半期累計期間の実績としては過去最高となりました。その要因は、前期に新規出店した大型店、及び当期に新規出店した大型店が稼働したこと、効果的な広告投下により、大型店を含む既存店の来店客数の増加が図られたことによるものです。

豪州子会社においては、鉄鉱石価格の上昇に起因する西オーストラリア市場の好況を背景に、西オーストラリアに拠点を置く、Buick Holdingsの新車販売台数が増加したことに加え、従来から強化している中古車販売が好調を維持しました。また、為替相場が前年同期比で豪ドルに対して円安で進行したこともあり、豪州子会社は増収増益となりました。

連結の販売費及び一般管理費は、前期に補助金を受領したことに伴い、感染症関連損失として販売費及び一般管理費から特別損失に振替処理したことに対する反動と、円安の進行の影響により増加しました。一方で、小売台数が過去最高となる状況においても、ネット集客の効率化によって個別の広告宣伝費は減少しました。

特別損失の主な計上要因は以下の3点です。

- ① 本社移転に伴う退去費用として、現本社の固定資産の未償却残高の費用化及び原状回復費用等、合計870百万円を本社移転費用として計上しました。
- ② 国内新車ディーラー事業撤退に伴い新車ディーラーを運営する子会社の株式譲渡による売却損303百万円を関係会社株式売却損として計上しました。
- ③ 直営店舗の閉店に伴い227百万円を固定資産除却損として計上しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の実績は、売上高344,620百万円(前年同期比22.2%増)、営業利益14,760百万円(前年同期比71.3%増)、経常利益14,046百万円(前年同期比78.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益8,738百万円(前年同期比67.2%増)となりました。それぞれ第3四半期連結累計期間の実績として過去最高となり、また、第3四半期までの実績で通期の過去最高実績を超える結果となりました。

地域セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### a. 日本

売上高239,812百万円(前年同期比10.6%増)、セグメント利益(営業利益)11,313百万円(前年同期比54.7%増)となりました。前期に新規出店した大型店、及び当期に新規出店した大型店の稼働、既存店の来店客数の増加などにより小売台数が増加しました。

#### b. 豪州

売上高103,123百万円(前年同期比61.2%増)、セグメント利益(営業利益)3,565百万円(前年同期比91.5%増)となりました。鉄鉱石価格の上昇に起因する西オーストラリア市場の好況を背景に、西オーストラリアに拠点を置く、Buick Holdingsの新車販売台数が増加したことに加え、従来から強化している中古車販売が好調を維持しました。また、為替相場が前年同期比で豪ドルに対して円安で進行したこともあり、増収増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### [資産の部]

当第3四半期連結会計期間末の資産の部合計は、179,458百万円(前期末比1.3%増)となりました。

流動資産は、現金及び預金が増加(前期末比3,721百万円増)したことなどにより、130,546百万円(前期末比3.1%増)となりました。

固定資産は、のれんが減少(前期末比1,726百万円減)したことなどにより、48,911百万円(前期末比3.4%減)となりました。

#### [負債の部]

当第3四半期連結会計期間末の負債の部合計は、126,204百万円(前期末比4.5%減)となりました。

流動負債は、買掛金が減少(前期末比1,231百万円減)したことや、前受金が減少(前期末比1,248百万円減)したことなどにより、43,563百万円(前期末比8.4%減)となりました。

固定負債は、長期借入金が増加(前期末比1,695百万円増)したことなどにより、82,641百万円(前期末比2.4%減)となりました。

#### [純資産の部]

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部合計は、利益剰余金が増加(前期末比7,950百万円増)したことなどにより、53,253百万円(前期末比18.3%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想は、2021年10月14日に公表しました「2022年2月期第2四半期 業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載した数値から修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「2022年2月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,179	46,901
受取手形及び売掛金	6,875	4,065
商品	72,913	75,603
その他	3,966	4,346
貸倒引当金	△328	△369
流動資産合計	126,605	130,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,918	36,414
減価償却累計額	△16,411	△15,822
建物及び構築物(純額)	20,507	20,592
車両運搬具	153	315
減価償却累計額	△32	△45
車両運搬具(純額)	121	270
工具、器具及び備品	4,335	4,138
減価償却累計額	△3,606	△3,126
工具、器具及び備品(純額)	729	1,011
土地	218	136
建設仮勘定	121	734
有形固定資産合計	21,697	22,744
無形固定資産		
ソフトウェア	1,717	1,455
のれん	7,698	5,971
その他	4,996	4,290
無形固定資産合計	14,412	11,718
投資その他の資産		
投資有価証券	139	132
関係会社株式	131	129
長期貸付金	30	224
敷金及び保証金	5,835	5,597
建設協力金	4,614	4,400
繰延税金資産	3,253	3,519
その他	544	487
貸倒引当金	△43	△42
投資その他の資産合計	14,506	14,448
固定資産合計	50,616	48,911
資産合計	177,222	179,458

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	20,940	19,709
短期借入金	1,117	1,082
1年内返済予定の長期借入金	342	-
未払金	4,586	3,831
未払法人税等	2,052	2,839
前受金	9,010	7,762
預り金	205	198
賞与引当金	1,167	215
商品保証引当金	737	869
その他の引当金	715	873
その他	6,658	6,180
流動負債合計	47,534	43,563
固定負債		
長期借入金	79,169	77,473
長期預り保証金	506	567
資産除去債務	2,546	2,121
繰延税金負債	1,616	1,419
その他の引当金	584	665
その他	249	393
固定負債合計	84,672	82,641
負債合計	132,206	126,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金	4,384	4,361
利益剰余金	39,665	47,616
自己株式	△4,344	△4,344
株主資本合計	43,862	51,790
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	134	△7
その他の包括利益累計額合計	134	△7
非支配株主持分	1,018	1,470
純資産合計	45,015	53,253
負債純資産合計	177,222	179,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	282,082	344,620
売上原価	227,986	280,249
売上総利益	54,096	64,371
販売費及び一般管理費	45,480	49,610
営業利益	8,616	14,760
営業外収益		
受取利息	32	24
補助金収入	—	46
為替差益	34	—
その他	49	72
営業外収益合計	116	143
営業外費用		
支払利息	765	677
為替差損	—	74
持分法による投資損失	46	94
その他	70	10
営業外費用合計	882	857
経常利益	7,849	14,046
特別利益		
有形固定資産売却益	—	17
補助金収入	1,516	45
受取補償金	—	25
その他	7	5
特別利益合計	1,523	94
特別損失		
固定資産除却損	278	227
関係会社株式売却損	—	303
店舗閉鎖損失	105	62
感染症関連損失	1,598	3
本社移転費用	—	870
その他	18	51
特別損失合計	2,000	1,518
税金等調整前四半期純利益	7,372	12,621
法人税、住民税及び事業税	2,347	3,861
法人税等調整額	△525	△421
法人税等合計	1,821	3,439
四半期純利益	5,550	9,182
非支配株主に帰属する四半期純利益	324	443
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,226	8,738



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	5,550	9,182
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	536	△159
持分法適用会社に対する持分相当額	△92	2
その他の包括利益合計	443	△156
四半期包括利益	5,994	9,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,631	8,596
非支配株主に係る四半期包括利益	362	428

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	豪州	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	216,701	63,987	1,394	282,082	—	282,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	—	—	32	△32	—
計	216,733	63,987	1,394	282,115	△32	282,082
セグメント利益又は損失(△)	7,314	1,861	△10	9,165	△548	8,616

(注) 1. 「その他」の区分には、米国の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△548百万円には、セグメント間取引消去△45百万円及びのれん償却額△503百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	豪州	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	239,812	103,123	1,684	344,620	—	344,620
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	239,812	103,123	1,684	344,620	—	344,620
セグメント利益	11,313	3,565	213	15,092	△331	14,760

(注) 1. 「その他」の区分には、米国の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△331百万円には、セグメント間取引消去27百万円及びのれん償却額△358百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社モトーレングローバル及び株式会社モトーレングランツの全保有株式を売却いたしました。これに伴い、株式会社モトーレングローバル及び株式会社モトーレングランツを当第3四半期連結会計期間末において、連結の範囲から除外したことにより、のれん金額に重要な変動が生じております。

当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては1,220百万円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。